

2018年総合生活改善 第2回中央生活闘争委員会 ＜確認事項＞

2018年2月26日
自動車総連

☆自動車総連では、拡大戦術会議登録組合（12組合）を中心とした2月14日（水）の要求書提出以降、2月末までに各加盟単組の要求書提出が完了する予定である。

○本日時点の集計では、要求書提出済みの725単組の内、ほとんどの単組が「賃金改善」に取り組み、その単純平均額は3,361円と昨年を上回る水準となっている。また、3,000円を1円でも上回る賃金改善分を要求した単組も大幅に増えており、「底上げ・格差是正を何としても進める」とした自動車総連全体の意思が強く表れているものと受け止める。

○「年間一時金」については、足下の業績の状況に違いがある中、いずれの単組も、組合員の努力・頑張りに報いる要求を構築しており、全体の平均要求月数は4.99ヵ月と昨年を上回る水準となっている。

○「働き方の改善」については、通年の取り組みも含め、職場の生産性向上や恒常的な長時間労働の是正に向け、職場の課題に応じた取り組みが各単組で実施されている。

○「非正規労働者の取り組み」については、職場の状況や声を踏まえ、一般組合員と同じく賃金改善分を有額で設定し要求する等、一步でも二歩でも前進すべく積極的に取り組んでいる状況がうかがえる。

☆本日までの交渉状況については、拡大戦術会議登録組合（12組合）を中心に第1回目の交渉が終わった段階であり、個別の要求項目についてのより突っ込んだやり取りは第2回目の交渉以降で行われる見通しである。

☆そうした中、経営側は、産業の大転換期にあることを背景に、とりわけ賃金の引き上げについては、日本経済の好循環に向けた社会的責任があることを前提としつつも、賃金水準の高さや中期的な競争力への影響、あるいは収益の状況等を理由に、相当慎重な態度を示しており、予断を全く許さない状況と言わざるを得ない。

☆こうした状況を踏まえ、今後、全ての単組は、要求趣旨の実現に向け、要求に込めた思いとともに、組合員が果たしてきた労働の質の向上や努力・頑張りを交渉の中で具体的に主張するとともに、次に掲げる個別要求項目毎の取り組みを着実に進めることで、自動車総連一体となって交渉を進めていく。また、交渉を先行的に進める拡大戦術会議登録組合（12組合）については、全体の交渉環境作りに係る役割を果たすと同時に、単組における取り組み項目全体の着実な前進を図る。

1. 個別要求項目毎の取り組み

<賃金>

- 「働き方の改善」に係る取り組み・協議との連動を意識しつつ、組合員が果たしてきた労働の質の向上や生産性向上、あるいは要求水準の根拠等を、具体的事実をもって主張し、自らの要求が必要不可欠かつ正当なものであることを強く訴える。
- 体質強化・競争基盤強化に繋がる労働の質の向上や生産性向上は、持続的に効くものであることに加え、一時金や所定外賃金、及び個人消費への波及等の観点から、月例賃金（基礎賃金）での引き上げに徹底的にこだわる。
- 企業内最低賃金協定については、同じ会社で働く者の最低限の生活を守る観点、及び特定（産業別）最低賃金への波及という社会的意義から、取り組みの必要性を粘り強く主張する。

<年間一時金>

- 要求に込めた思い・こだわり、それを裏付ける組合員の努力・頑張り余すことなく主張する。また、生活の安定との観点から、季別回答や業績を意識した付帯事項は望ましくないとのスタンスのもと、年間での協定にとことんこだわる。

<働き方の改善>

- 要求を掲げた単組は、前進感ある回答を引き出すべく取り組む。また、要求の有無や内容如何にかかわらず、労働組合の立場で、職場の生産性向上や恒常的な長時間労働の是正に向けた課題解決に積極的に関わっていく。

<非正規労働者の取り組み>

- 全ての単組は、それぞれの状況に応じた取り組みを一步でも二歩でも前進させるとともに、要求を掲げた単組は、一般組合員に係る回答との同時引き出しにこだわって取り組む。

2. 今後の進め方

☆各単組・労連、自動車総連本部は、それぞれの役割を果たし、自動車総連一体となった取り組みを強力に推進していくことで、全体の底上げ・格差是正の前進を果たす。

- 各労連は、それぞれの業種毎の交渉状況を踏まえ、中小単組に対する具体的サポートを着実に遂行するとともに、交渉終盤に向け、加盟単組の最大限の回答引き出し・解決の早期化に繋がる具体的な戦術を策定・展開する。

- 自動車総連本部は、2月末までとした全体の要求提出状況と併せて、拡大戦術会議登録組合（12 組合）を始めとした各単組の交渉状況を速やかに分析・共有することで、全体の共闘効果の発揮と交渉の前進を図る。併せて、自動車総連全体の要求・交渉状況を戦略的・効果的に組織外に発信していく。

☆第3回中央生活闘争委員会を3月10日（土）に開催する。それに先駆け、臨時戦術会議を3月5日（月）に開催し、3月10日（土）に向けた論議を深める。

以 上